

秋の恒例行事

キャンパスツアー&六大学野球応援

その3

になってしまいました

法政大学後援会長長野県支部では、10月19日(土)に多摩キャンパスツアー、20日(日)は神宮球場で東京六大学野球法政vs慶応の応援と、市ヶ谷キャンパスツアーを行いました。その様子を伝える「長野県支部だより」も3回目、いよいよラストの「市ヶ谷キャンパスツアー」です。

ツアーは、20日(日)午後3時に市ヶ谷キャンパス集合。六大学野球応援で慶応にサヨナラ勝ちした興奮のまま神宮球場から向かいました。長野県支部の参加者は7名。群馬、静岡、宮崎の各支部からも野球応援から引き続き参加しました。

「エイチ・ユー」の方の案内で、群馬県支部の皆さんと一緒に富士見ゲート棟から順に回ります。

校舎は、いずれも整然としていて、おしゃれな雰囲気。日曜日にもかかわらず、オープンスペースで勉強している学生の姿もありました。



学食の一つ「カフェテリア つどひ」(富士見ゲート棟3階)は外濠を望むテラスも。カレーライス(中)、醤油ラーメンいずれも400円。ぜひ一度味わいたいですね!!
余談ですが学生だった40年前、学食は地下にあり、カレーやラーメンは180円だったと記憶しています(早川)



学生生活にPCは欠かせず、校舎内は、Wi-Fiはもちろん、教室の机にはコンセントも完備。「コロナ禍」を経て、オンラインの利点を生かしながら新時代の学生生活が行われています。またグローバル化や就活への対応について、興味深く説明を聞いていました。

そしてHOSEIのランドマーク、ボアソナード・タワーへ! 26階からは、西に沈む夕日に照らされた高層ビルや街並みの風景.....思わず「ビール飲みたいな」と独り言が(苦笑)

富士山が見える日もあるとのこと。校歌「♪見はるかす窓の富士が峯の雪～」や、住所も「千代田区富士見」であることを思い出しました。

約1時間のキャンパスツアーで、参加した皆さんは、我が子の学生生活を思い巡らせるとともに、「〇十年前」に戻ってこの環境で学びたかったと思ったことでしょうか。

今回参加できなかった方も、機会を見つけて市ヶ谷、小金井、多摩の各キャンパスを訪ねてみてください。

【ひとりごと】

法学部政治学科の1987年卒業生としては、校舎はほぼ全て建て変わり、女子学生が増え雰囲気が大きく変わって驚くばかり。でも「自由と進歩」の空気感は変わらず懐かしさを感じました。当時の大学や学生の雰囲気は、作家、吉田修一氏(経営学部卒)の『横道世之介』によく描かれています。機会があればご一読を。

副支部長 早川英治



群馬県支部の皆さんと記念撮影

